

氏名	富田文子	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	障害者福祉 職業リハビリテーション 就労支援				
学位	修士（健康福祉科学）				
学歴	2009年3月 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科 卒業 2012年3月 埼玉県立大学大学院保健医療福祉科学研究科博士前期課程 修了 2026年3月 埼玉県立大学大学院保健医療福祉科学研究科博士後期課程 退学				
経歴	2009年4月～2016年3月 大田区役所（福祉職） 2016年4月～2019年3月 立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科助教 2019年4月～現在に至る 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科助教				
所属学会（役職）	日本社会福祉学会 日本職業リハビリテーション学会 日本リハビリテーション連携科学学会 日本発達障害学会 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	支援者向け大田区障がい者就労支援施設ガイドブック第5版	共著	なし	大田区立障がい者総合サポートセンター、P.129.		大田区立障がい者総合サポートセンター支援調整担当・富田文子編	2026.3
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	企業における障害者雇用の賃金水準に対する改善に向けた課題の検討	単著	あり		地域ケアリング、27(6) 50-53.	富田文子	2025.5
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	An Analysis of Employment for Persons with Intellectual and Mental Disabilities in Japanese Labor Transition Support Offices	共同	33rd European Congress of Psychiatry, Madrid, Spain.		○Yumiko KATAYAMA, Ayaka NAKAO, Ayako SASAKI, Yuko KADOSHITA, Fumiko TOMITA, Atsushi OZAWA,		2025.4
2	グループホームを利用する知的障害者の企業就労時における就労支援事業所の一時利用を活用した支援の有効性—生活課題の改善と就労継続に向けた自治体との連携による実践報告—	共同	日本発達障害学会第60回研究大会、新潟		○富田文子,若林功,山口明乙香,野崎智仁,八重田淳,後藤由紀子,前原和明,塩津博康,石崎 由希子,長谷川珠子,永野仁美		2025.11
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	第35回(令和6年度)手話通訳技能認定試験模範解答集	共著	一般社団法人手話通訳士協会		鈴木唯美,木下武徳,富田文子,木村淳子,渡部芳博,小嶋栄子,根岸亜紀,寺垣英比古(分担:障害者福祉の基礎知識第11-20問,P3,17-31.)		2026.2
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省科学研究費助成基金(基盤研究C)	企業就労する障害者の雇用形態や賃金体系を基盤した職務評価のモデル指標の開発			研究代表者		2021.4-2026.3

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	障害者福祉論	○	15	障害者福祉論に関する理念、国内外における歴史的背景、障害者総合支援法等に関連法令に基づく障害福祉サービスについて教示し、視聴覚資料等を活用したワークで、多様なニーズに対応する支援者の役割を示した。
2	ソーシャルワーク特論Ⅲ（就労支援論）	○	15	労働関係法令や動向、障害者や生活困窮者等の法制度を踏まえてと具体的な支援方法を示した。特例子会社及び就労支援者からゲストスピーカーを招聘し、現場で就労支援の実際を教授した。
3	国際社会福祉論		1	JICA派遣経験を有する本学卒業生及びJICA職員をゲストスピーカーとして、開発途上国における保健医療福祉分野での支援と、海外での働く可能性について、パネルディスカッションを踏まえながら理解を深めるよう教授した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	社会福祉演習		15	1年次必修科目として、ビブリオバトルや論文の書き方等の基礎的能力について教示した。また、社会における福祉的課題関心を探るようファシリテートし、他者と意見を共有する・議論を促進し、多角的視点が醸成されるよう指導した。
2	ソーシャルワーク演習Ⅰ		15	コミュニケーション基礎となる1年次グループワークに関する演習科目の担当者として関わった。ロールプレイや自己理解・他者理解対して、具体的助言・指導を行った。
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		15	2年生に対して、実習生記録の書き方や実習課題の作成等を中心に、実習指導者からの指導内容と自らの経験に基づく考察の記述が可能なよう、グループワークを活用し事前指導を行った。また、視覚的に理解しやすい資料作成に努めた。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		2025.9-2025.10	6名の学生の指導を行った。学生のグループ形成については、オリエンテーション時から積極的に介入することで、活発な議論のできるグループに成長できた。退院後の生活維持に向けた具体的課題の聞き取りを支え、詳細なケアプランの作成のために家族・関係者と本人とのニーズの調整の難しさを実感した上で、理想とする生活設計を構築することにファシリテートした。
2	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2026.2-2026-3	7名の学生（6施設）を担当した。実習における課題解決の促進に向けた巡回面談、学生が抱える葛藤に対する支持的・教育的スーパービジョンを実践した。また、施設の実習指導者等との協議・事前準備において、施設の現状や課題・多職種連携において、学生の理解が促進されるように調整を依頼した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導 名	副指導 名

(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	2025年度社会福祉学会・社会福祉子ども学科ホームカミングデー企画運営	2025.10	「災害時に私たちができる支援を話し合おう」をテーマに、福祉現場での実践に勤める卒業生を招聘し、災害福祉に関する講演・パネルディスカッション、卒業生在学生交流会を開催した。約30名が参加した。		
2	国際交流委員会企画イベントの企画運営	2025.12	「JICA連携事業第4弾 途上国の保健医療福祉の課題を知ろう～世界で働く可能性～」をテーマに、卒業生・JICA職員を招聘し、開発途上国での保健医療福祉分野での支援実践と、海外での働き方について講演の後、パネルディスカッションの進行を担当した。学生の海外での労働可能性についてさらに教示を得た。約150名が参加した。		
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月	
1	2026年度手話通訳士試験対策Web講座受講者	社会福祉法人全国手話研修センター	障害者福祉の基礎知識（障害者福祉の実施体制／障害者福祉サービス／障害者の生活を支える関連制度）	2025.4-2026.3	
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期	
1	さいたま障害者就業サポート研究会		研究会事務局員	2016.4-現在	
2	大田区役所障がい者総合サポートセンター		大田区障がい者就労支援検討会有識者	2025.4・現在	
3	厚生労働省		「障害者虐待事案の未然防止のための調査研究一式」に係る技術評価委員会	2026.3	
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称			内容	年月
1	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等	内容		期間
1	国際協力事業	JICA東京	学生に対する国際交流における教育連携		2025.4-2026.3
5. 学内運営					
	項目	内容			期間
1	学科等における委員会等	社会福祉学専攻スタッフルームの運営			2019.4-現在
2	全学的委員会及びセンター業務等	国際交流委員会（JICA連携事業の企画運営）			2025.4-2026.3
3	学科等における委員会等	4年次学年担当（社会福祉学専攻）			2025.4-2026.3
4	学科等における委員会等	2025年度ホームカミングデーの企画・運営			2025.4-2026.3
5	学生支援	ボランティアサークルnecco顧問			2025.4-2026.3
6	学生支援	手話サークルビー玉顧問			2025.4-2026.3
7	大学広報活動	オープンキャンパス担当（8月）			2025.8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）					
	受賞名		主催	受賞年月	
1	該当なし				
7. 特許の取得					
	特許名		特許番号	登録年月	
1	該当なし				
8. 特記事項					
1	該当なし				